

シンポジウム
ライティング支援の未来像@関西大学

ライティング／キャリア支援における
eポートフォリオ活用

日本女子大学理学部 小川賀代

Japan Women's University Kayo Ogawa

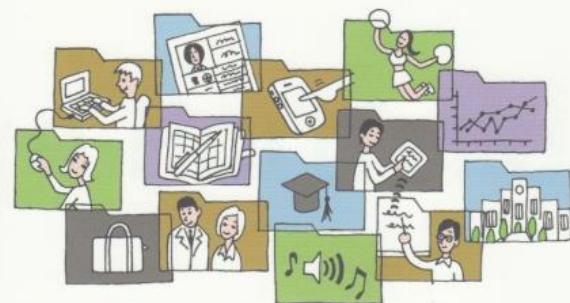
自己紹介

- ・ 所属
理学部数物科学科 物理情報コース
准教授 博士(工学)
- ・ 研究室 2005年からスタート 10年目
現在 修士2人、学部4人、研究員2人
- ・ 研究テーマ
光無線通信システム、光情報処理
情報システム(eラーニング、eポートフォリオ)
- ・ 最近の著書
大学力を高めるeポートフォリオ
—エビデンスに基づく教育の質保証をめざして



大学力を高める eポートフォリオ

エビデンスに基づく教育の質保証をめざして



小川賀代・小村道昭 編著

飯吉透氏推薦

京都大学高等教育研究開発推進センター教授
元 カネギー教育振興財団知識メディア研究所所長

今、学びを通して得られた様々な能力や経験を「見える化」する有効な手段として、
eポートフォリオが注目されており、それは我が国の大学教育だけでなく不安定な
現代社会における就職や雇用のパラダイムを再構築する可能性を孕んでいる。
本書は、日本でのeポートフォリオ実践・開発の先駆者たちが、その理念から実用化に
至るまでの知見を広範かつ綿密に捉えた大学・企業関係者必読の書である。

東京電機大学出版局

eポートフォリオの作成手順

1. Defining the Portfolio Context & Goals
2. The Working Portfolio ⇒ データ収集、成果物などの蓄積
3. The Reflective Portfolio ⇒ 振り返り、考察
4. The Connected Portfolio ⇒ 評価・公開する相手の選択
5. The Presentation Portfolio ⇒ 自己評価、相互評価

Ref: H. C. Barrett, *Learning & Leading with Technology* vol.27 no.7 pp.14-21 (2000)



ポートフォリオの種類

- ・ 学習(学修)ポートフォリオ
- ・ ティーチングポートフォリオ
- ・ キャリアポートフォリオ
- ・ ショーケースポートフォリオ

どのポートフォリオも
ポートフォリオサイクルを
回すことが大事！



アメリカの調査結果

- 2012年に実施した The Annual AAEEBL Surveyでは…

『回答した28%の高等教育機関で、90-100%の学生がeポートフォリオを作成している』

- 2013年に実施した AAC&Uのオンライン調査では…

『83%の雇用者が、学生の知識および技術の保証にeポートフォリオは有用であろう』

海外におけるキャリアポートフォリオ活用の取組実施校例

- ・ フロリダ州立大学(FSU)
- ・ ケネソー州立大学
- ・ クレムソン大学
- などなど

殆どの大学において
キャリアセンターが運用

FLORIDA STATE UNIVERSITY
The Career Center & Career Portfolio

Career Portfolio
Chart Your Course for Success

優秀なポートフォリオを表彰.
奨学金も!

CONGRATULATIONS
Winners
of the
2013-2014 Portfolio Contest!

1st Place Graduate
Amanda Cleveland

1st Place Undergraduate
Scott Pollenz

2nd Place
Megan Federico



日本国内のキャリアポートフォリオ

文部科学省が様々なキャリア教育に関する事業を実施

例>

- ・「大学教育・学生支援推進事業」(H21)
- ・「大学生就業力育成事業」(H22)
- ・「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」(H24)

多くの大学でeポートフォリオを導入！



日本におけるキャリア教育

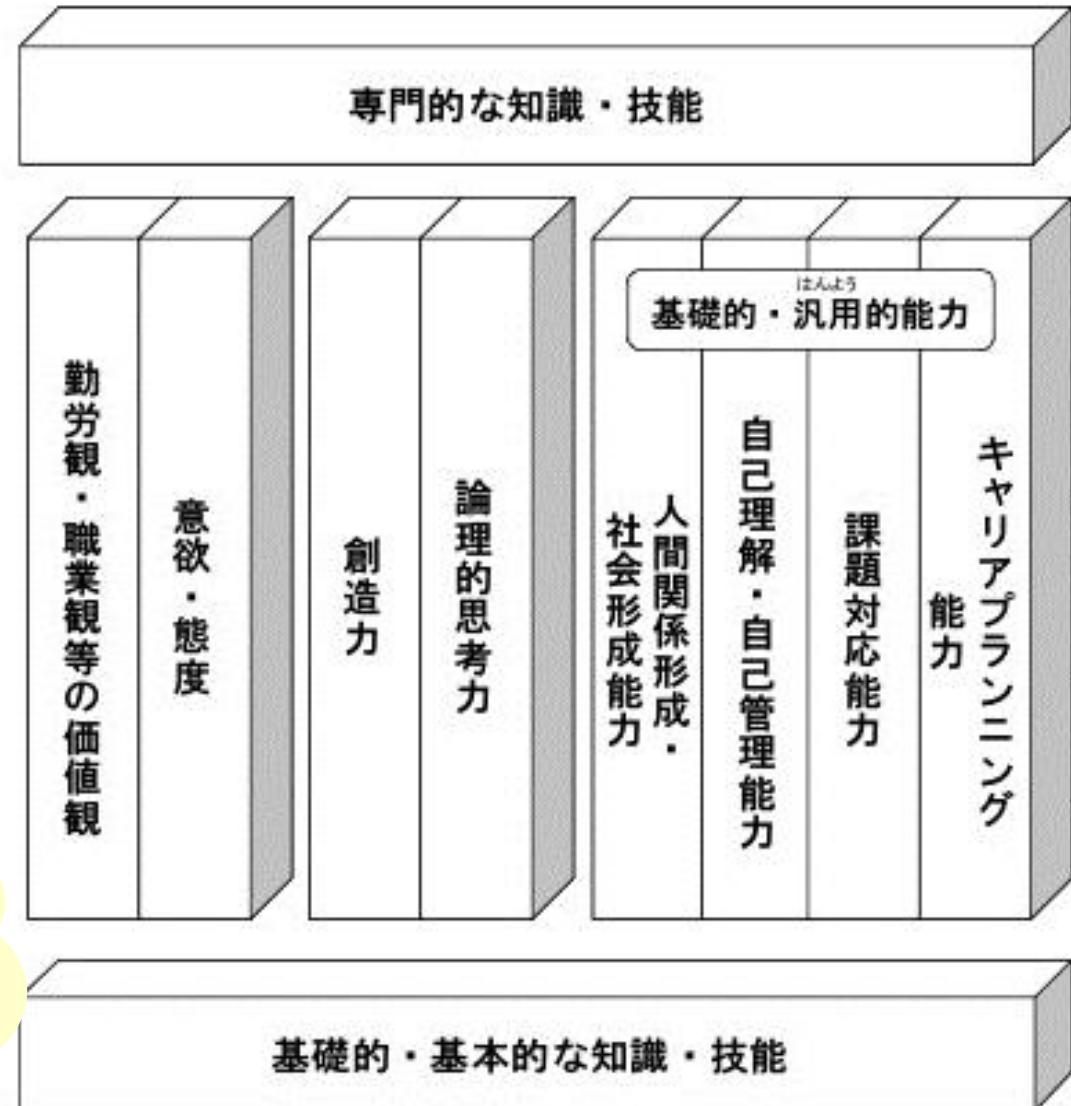
「社会的・職業的自立、
社会・職業への円滑な
移行に必要な力」

中教審:「今後の学校教育におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」の答申より

2011年よりキャリア教育義務化

どのようなツールを
用いて、このような力を
育成していくのか？
評価していくのか？

⇒eポートフォリオ



eポートフォリオの導入目的は？

- キャリアを考える上で必要な情報の蓄積
(自分のことを理解する・自己分析)
- 自己PRのネタ帳
- なりたい自分を考える訓練(振り返り)

どんなキャリアポートフォリオを
思い描いていますか？

eポートフォリオは万能薬ではありません
⇒各機関に適したeポートフォリオがある！



日本女子大学の取り組み

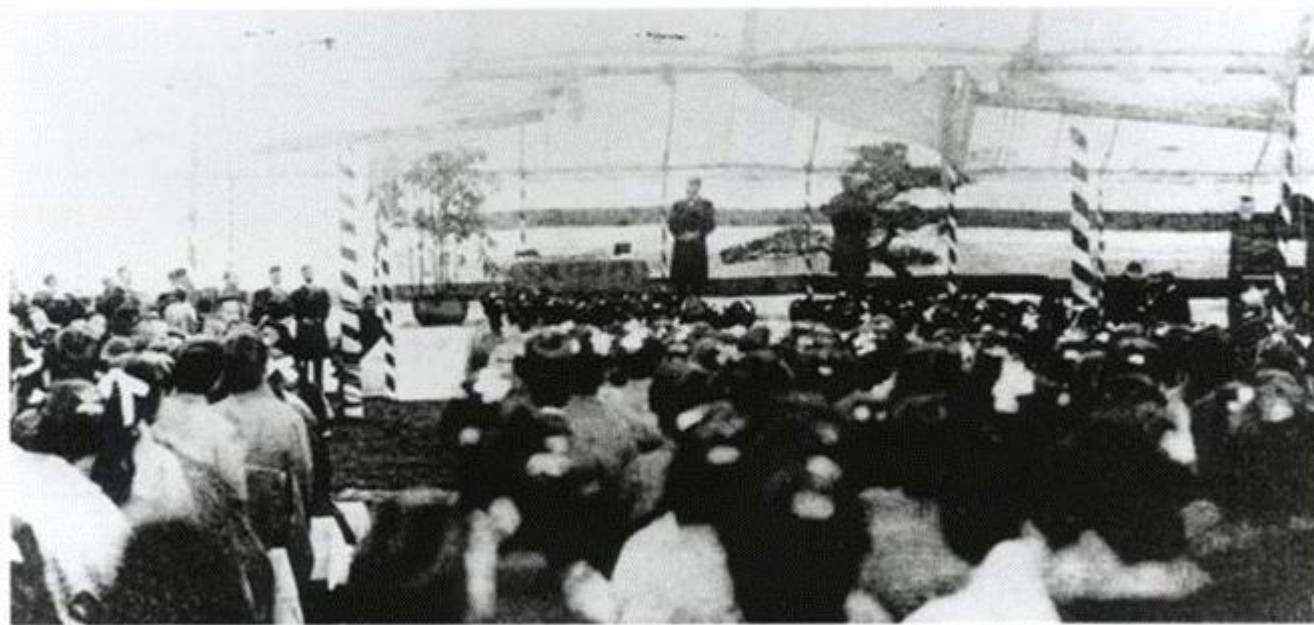
ロールモデル型eポートフォリオ

Role Model based e-Portfolio: RMP

～キャリアデザインを支援するシステム～

日本女子大学校の創立

1901(明治34)年の4月20日 家政学部84名、国文学部91名、英文学10名、
英文予備科37名 計222名
附属高等女学校 288名 合計510名



開校式の様子(祝辞を述べる大隈伯爵)

「女子を人として、婦人として、国民として教育する」熱情を持ち、設立準備に6年を要した。創立者・成瀬仁蔵先生は日本を代表する女子教育の学校にとの自信と自負をこめて、「日本女子大学校」と命名。当時、女子大といえば本学のことについていた。



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

日本女子大学

(一貫教育)

幼稚園

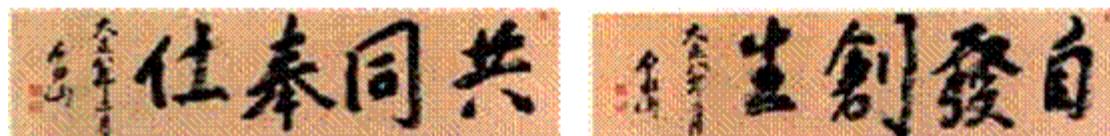
小学校

中学校

高等学校

学 部

＜三大綱領＞



創立者：
成瀬仁蔵先生

家政学部

- ・児童学科
- ・食物学科
- ・住居学科
- ・被服学科
- ・家政経済学科
- ・家政学部通信教育課程

人間社会学部

- ・現代社会学科
- ・社会福祉学科
- ・教育学科
- ・心理学科
- ・文化学科

文学部

- ・日本文学科
- ・英文学科
- ・史学科

理学部

- ・数物科学科
- ・物質生物科学科

大学院

家政学研究科

- ・児童学専攻
- ・食物・栄養学専攻
- ・住居学専攻
- ・被服学専攻
- ・生活経済専攻

人間社会研究科

- ・社会福祉学専攻
- ・教育学専攻
- ・現代社会論専攻
- ・心理学専攻
- ・相関文化論専攻

文学研究科

- ・日本文学専攻
- ・英文学専攻
- ・史学専攻

理学研究科

- ・数理・物性構造科学専攻
- ・物質・生物機能科学専攻

人間生活学研究科

- ・人間発達学専攻
- ・生活環境学専攻

110年間に80,000人を越える多数の卒業生を輩出



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

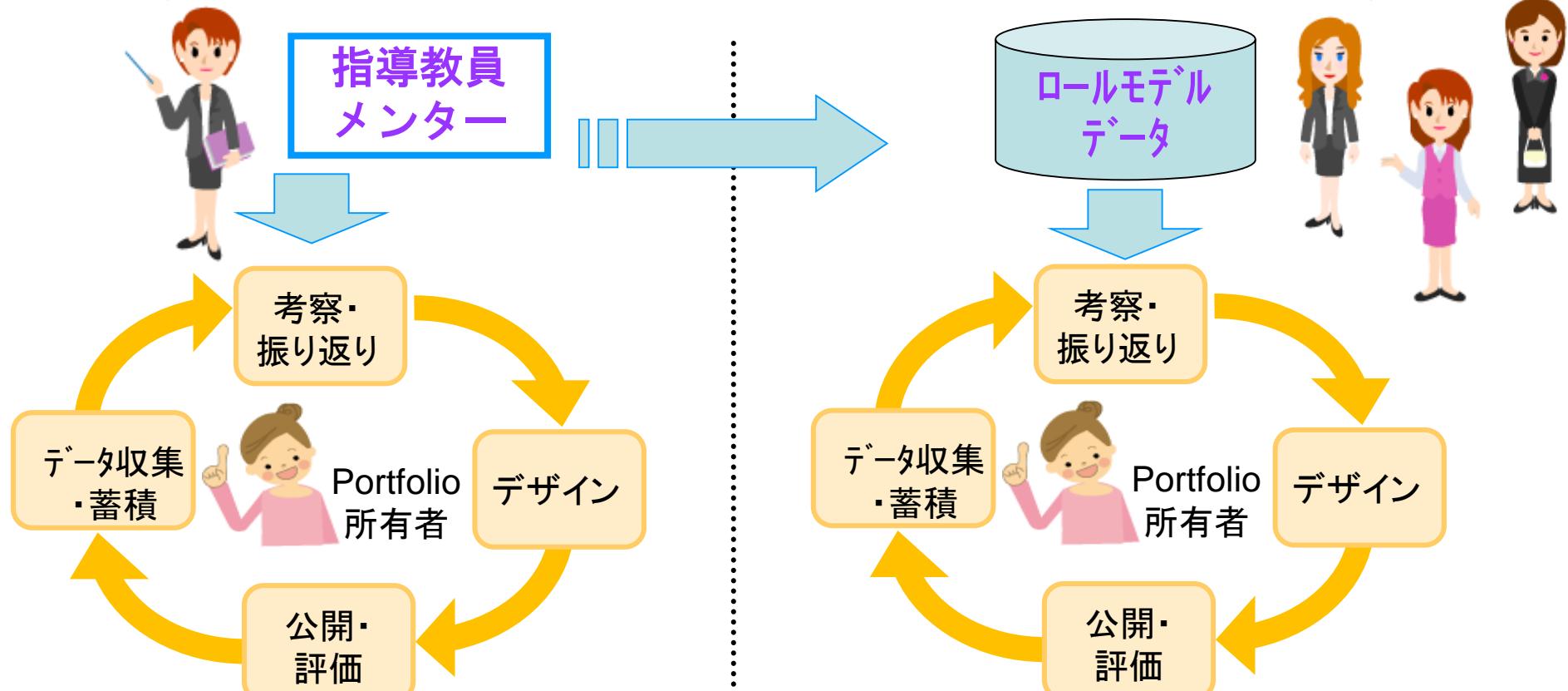
卒業生とのつながり

- ・ 同窓会(1904年設立)
(社団法人 日本女子大学教育文化振興桜楓会)
- ・ 科学技術振興調整費
「女性研究者マルチキャリアパス支援モデル」
- ・ 文部科学省委託事業
「リカレント教育・再就職システム」
- ・ 高度化推進事業
「新規学習ニーズ対応プログラム」
- ・ 日本女子大学 生涯学習センター

大学はライフイベントに対応した支援を行っている

卒業生との
結び付きが
強い！

ロールモデル型eポートフォリオ (Role Model based e-Portfolio: RMP)



ロールモデルの蓄積データが
指導教員やメンターの役割を担う

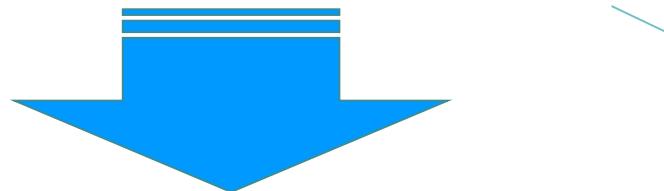
日本教育工学会論文誌
31(1), 51-59 (2007)



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

キャリアデザインにおける ロールモデルの存在

キャリアデザインを行う際、自己分析が不十分な学生が
具体的な目標設定を行うことは極めて難しい。



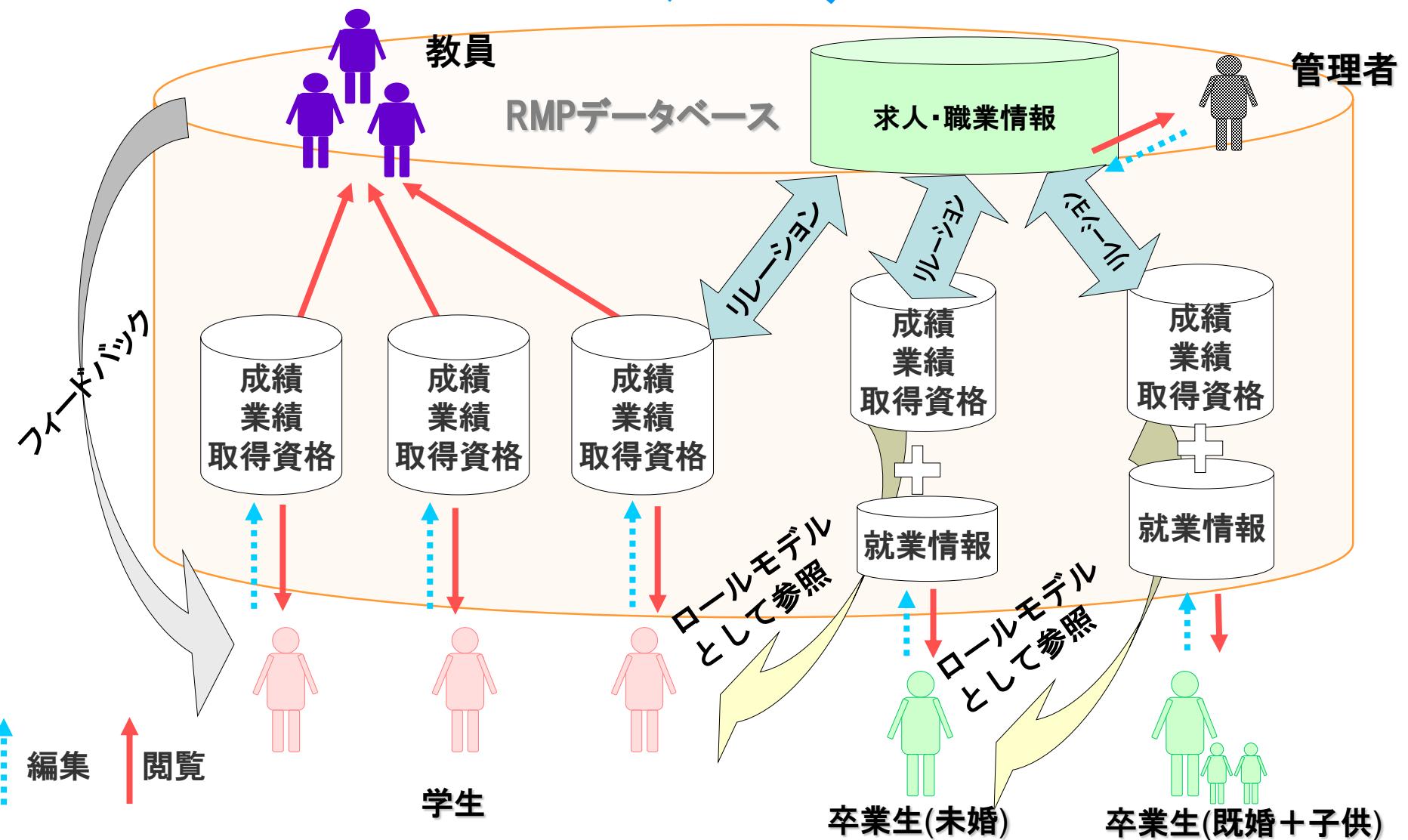
ポートフォリオ活用において、ゴール設定は効果的に使用するための重要な要素

ロールモデルの提示は効果的*

男女問わず、多くのロールモデルの事例が
大学案内や就職関連のWebや冊子等で提
示されている。

* Ref:古野庸一(1999)キャリアデザインの「必要性」と「難しさ」. リクルートワークス研究所「Works」, Vol.35:4-7

RMPシステム

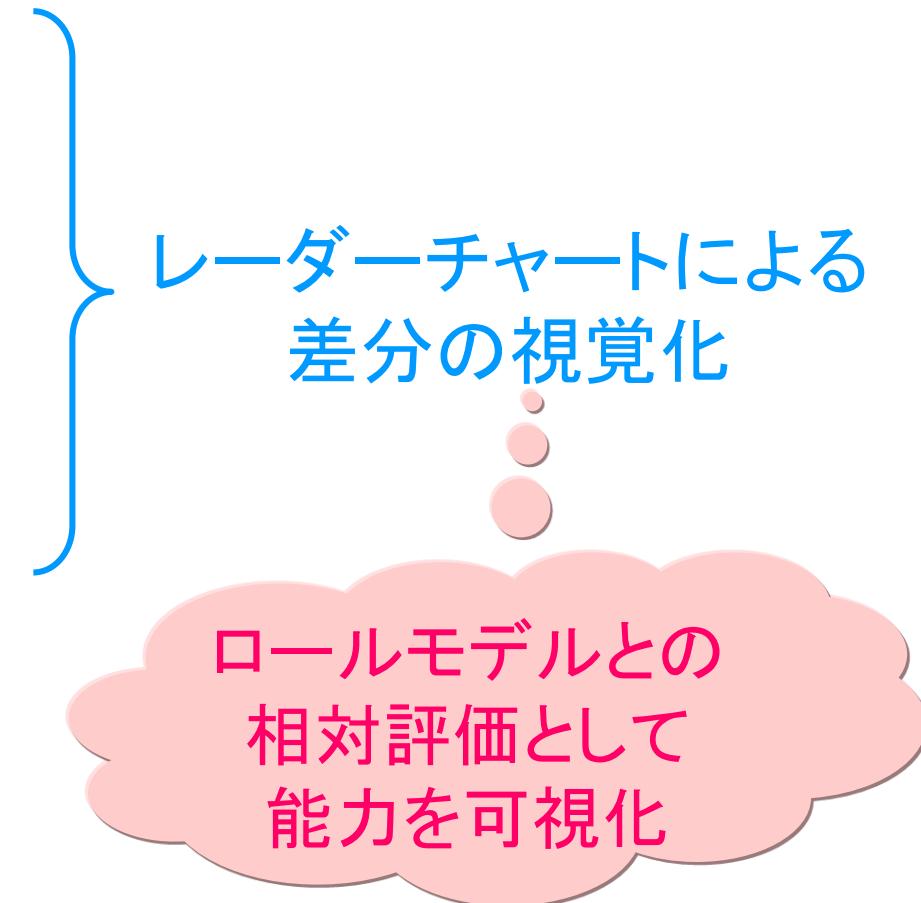


ライフロングなeポートフォリオを目指して設計



RMPの機能

- 達成度(評価基準)の数値化
 - 業種・職業別に分類されたロールモデルとの比較
 - 企業別に分類されたロールモデルとの比較
 - 自分自身の過去と現在の達成度(評価基準)の比較
- 推奨履修科目の提示
- 適職診断
- 企業マッチング診断



RMP解析部の画面例

認証フォーム

Demo site

Role Model based e-Portfolio

認証フォーム

* ユーザID

* パスワード

* 必須項目 パスワードを紛失した場合

① 認証

ロールモデル選択画面

RMP分析

ロールモデル

職種: 任意
業種: 任意

会社名: 東芝

※ 学部卒業時の成績 => 「4年生」を選択して比較

ロールモデルの代わりに自分の成績で比較

ロールモデルの代わりに自分の成績で比較

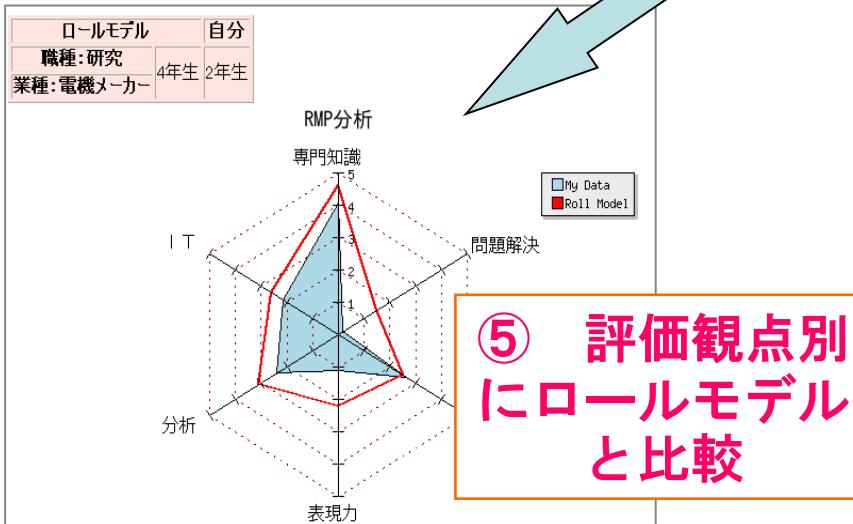
1年生

自分の成績

③ 学年を選択

レーダーチャート 表示画面例

④ 解析



② 職種と業種を選択

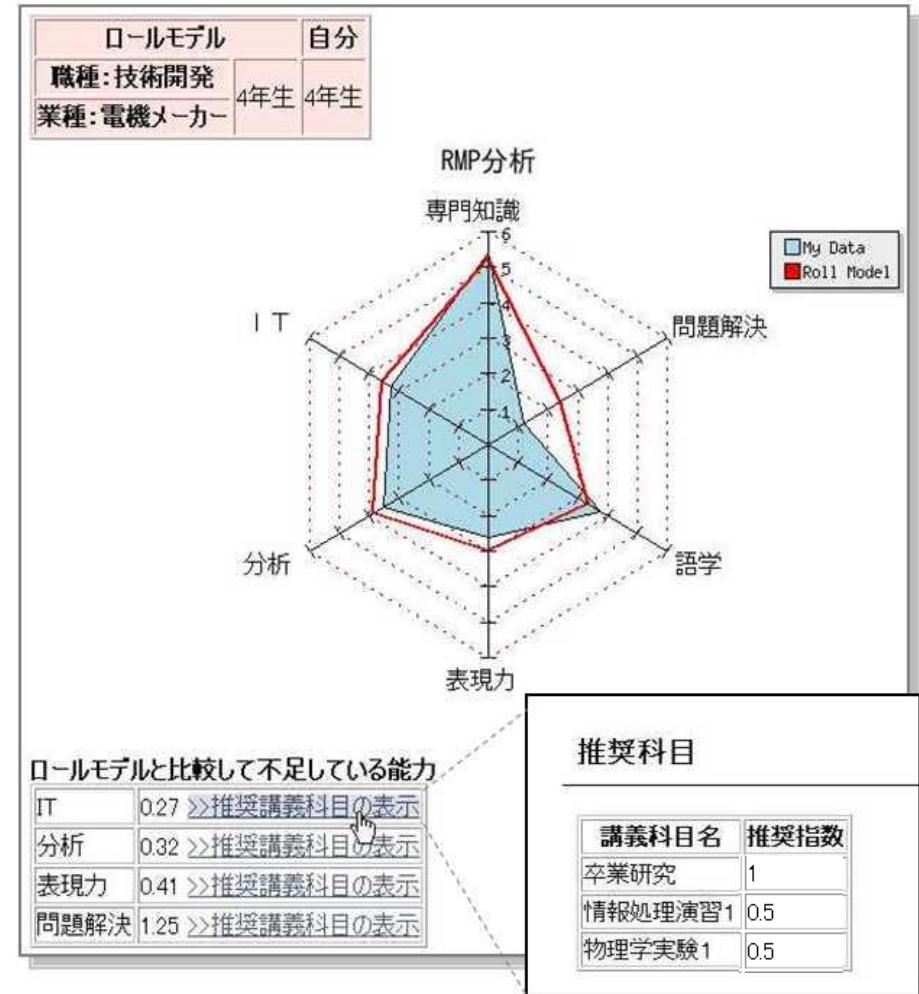
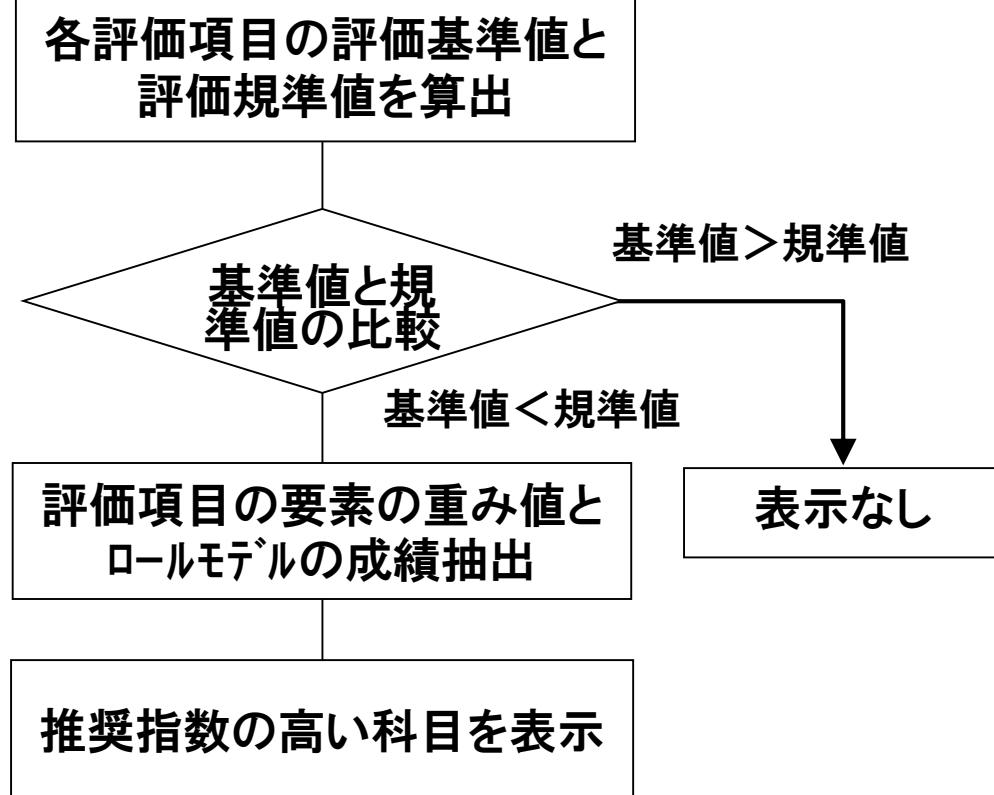
【職種の種類】

- ・企画
- ・研究
- ・技術開発
- ・設計
- ・設計
- ・営業
- ・ネットワークエンジニア
- ・システムアリリスト・コンサルタント
- ・システムエンジニア
- ・プログラマ
- ・教師
- など

【業種の種類】

- ・メーカー(電気)
- ・メーカー(精密機器)
- ・メーカー(自動車)
- ・メーカー(その他)
- ・教育
- ・金融
- ・ソフトウェア・情報
- ・マスコミ
- など

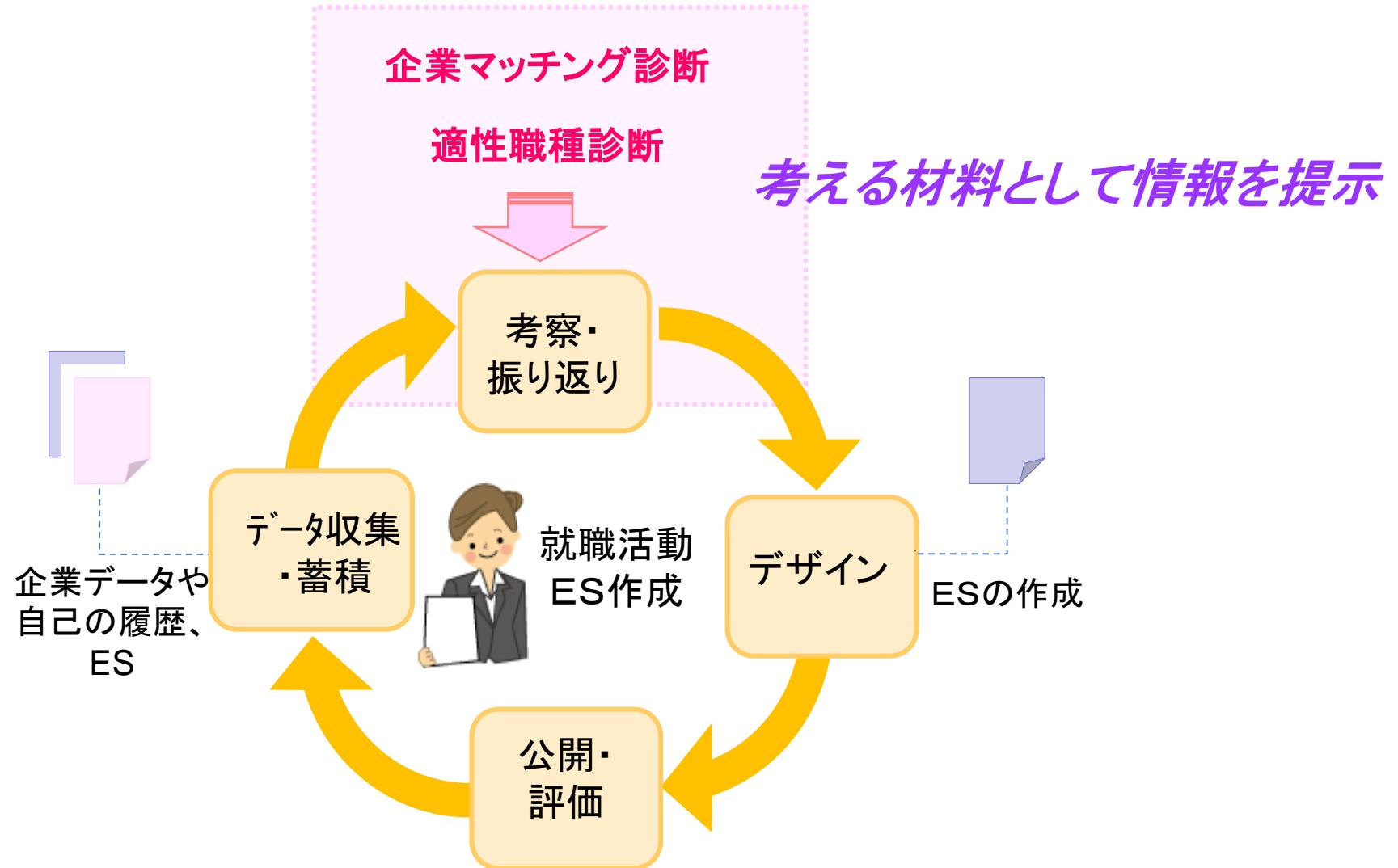
推奨履修科目・取得資格の提示



ロールモデルとの差分を解消するために
推奨指數の大きい推奨履修科目・取得科目を提示

蓄積文書活用したキャリア支援機能

20



女性研究者マルチキャリア支援 への導入

平成18年度科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成 採択を受けて

女性研究者マルチキャリアパス支援モデル

期間 : 2006年7月14日～2009年3月31日

総括責任者 : 後藤 祥子(日本女子大学学長)

プロジェクトリーダー : 小館香椎子(日本女子大学理学部教授)



研究者・技術者の評価に eポートフォリオを用いたきっかけ

- ・ 研究者の資質は、論文数だけではかることはできない。



どのような技術的スキルを有し、どのようなプロジェクトに携わり、どのようにキャリアを蓄積してきたか等は、研究業績以上に本人の将来を方向付ける資質・能力を示すと考えられる。



研究者向けeポートフォリオ

【入力例】

◆ 取得資格

取得資格一覧

資格	スコア	取得日時	削除
TOEIC	700	2007-08-03	<input type="checkbox"/>
TOEFL	600	2007-04-17	<input type="checkbox"/>
英検2級		2007-06-20	<input type="checkbox"/>
初級システムアドミニストレータ		1998-02-10	<input type="checkbox"/>
情報セキュリティアドミニストレータ		2007-05-29	<input type="checkbox"/>
ORACLEマスター・ゴールド		2007-06-20	<input type="checkbox"/>
中学校教諭一種免許状・数学		2007-06-21	<input type="checkbox"/>

取得資格の削除

◆ 機器・技能

機器・技能一覧

装置・技能	経験期間	削除
高速液体クロマトグラフィー(HPLC)	2000～2002	<input type="checkbox"/>
ガスクロマトグラフィー(GC)	1990～1995	<input type="checkbox"/>
紫外・可視分光光度計	2005～2007	<input type="checkbox"/>

チェックのついた装置・技能を削除

データ入力, 更新が可能

取得資格情報の登録・更新

資格	スコア	取得日時 (年/月/日)	登録/変更
TOEIC	700	2007 08 28	<input type="checkbox"/>
TOEFL	600	2007 08 28	<input type="checkbox"/>
基本情報技術者		2007 08 28	<input type="checkbox"/>
ソフトウェア開発技術者		2007 08 28	<input type="checkbox"/>
初級システムアドミニストレータ		2007 08 28	<input type="checkbox"/>
上級システムアドミニストレータ		2007 08 28	<input type="checkbox"/>

■
■
■

高等学校専修免許状・理科

高等学校専修免許状・理科	2007 08 28	<input type="checkbox"/>
高等学校専修免許状・情報	2007 08 28	<input type="checkbox"/>
英検1級	2007 08 28	<input type="checkbox"/>
ORACLEマスター・プラチナ	2007 08 28	<input type="checkbox"/>
簿記1級	2007 08 28	<input type="checkbox"/>

取得資格の登録・更新

◆ 業績

◆ 就業データ etc...



利用者の声

＜研究助手Aさんの例＞

Aさんは、将来、研究者として歩んでいけるか心配であったため、博士後期課程の進学について迷っていたが、eポートフォリオに蓄積されている研究者の道を歩んでいるロールモデルの修士2年の時の能力値と自分の能力値の比較を行い、その結果、同じ時期の能力は同程度であることが確認でき、博士後期課程進学を決め、他大学大学院を受験し、見事合格し、研究者の道を歩みだした。

＜研究助手Bさんの例＞

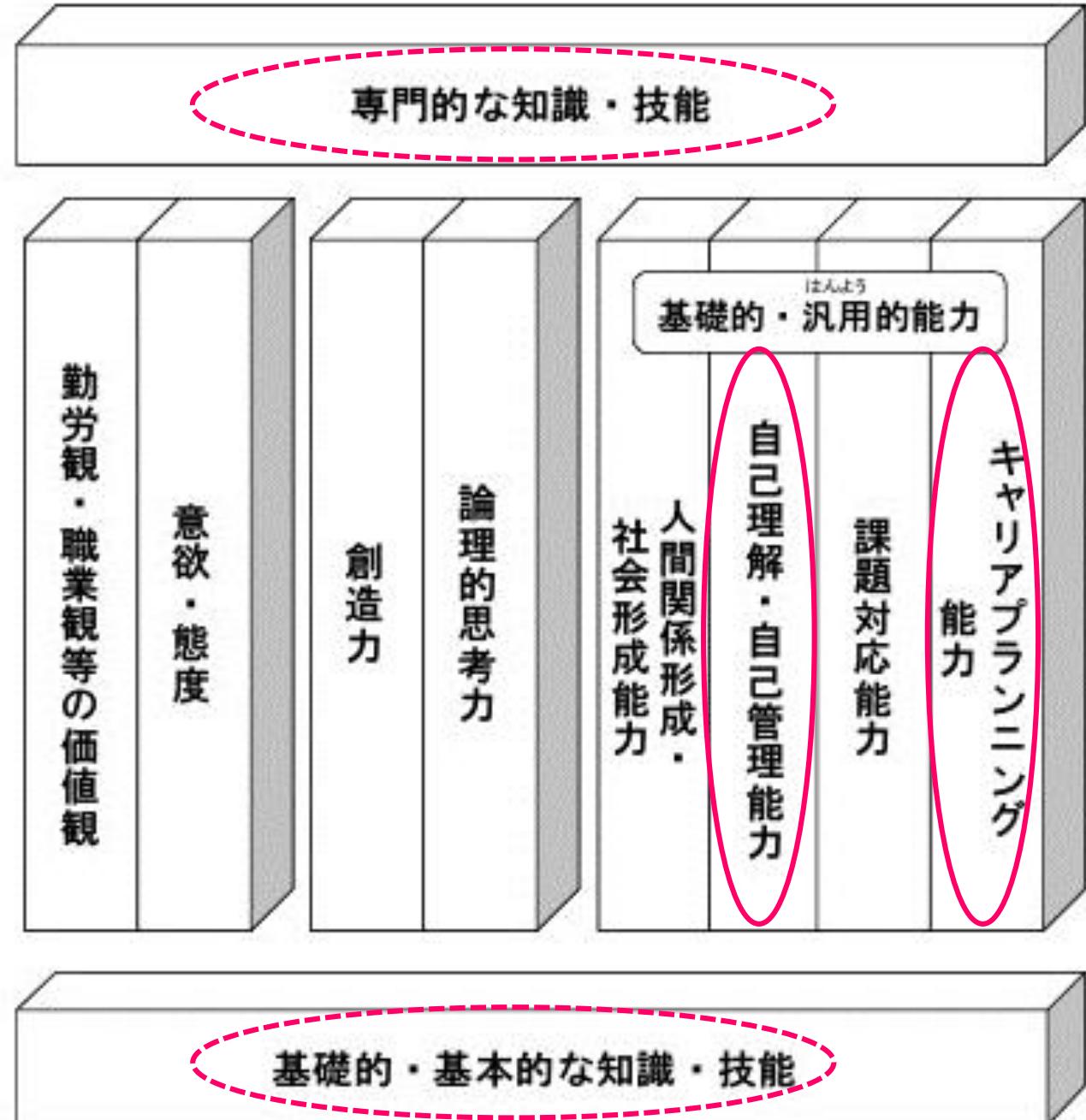
Bさんは、大学卒業後、研究助手となつたが、eポートフォリオシステムに掲載される仕事情報を見ることで、修士卒以上の就職先の広さを実感し、またやりがいのある仕事がたくさんあることを知ることができ、大学院の進学を決め、同級生とは1年遅れて大学大学院を受験し、見事合格した。

メタ認知が
促され、キャ
リアデザイン
支援につな
がった

仕事情報の提供は、すぐに就職に結びつけるだけでなく、女性研究者・技術者がどのような分野で活躍することができるのかを具体的に示すきっかけとなつた

日本女子大学のeポート
フォリオによるキャリアパ
ス支援で
「社会的・職業的自立、
社会・職業への円滑な移
行に必要な力」
の要素が育成されるの
は…

ポートフォリオサ
イクルを回すこと
で、多くの力が育
成される！



まとめにかえて

～持続可能なeポートフォリオ活用に向けて考えるべき項目～

- ・ 目的
- ・ 対象
- ・ 実施体制(人的配置, 費用, システム)
- ・ 入力項目
- ・ 持続させる工夫

できることから地道に取り組み、あせらず、
じっくり取り組んでいきましょう！

ご清聴ありがとうございました。